

心臓血管放射線研究会学術研究助成
助成者の学会報告記

氏名 荻安 俊哉

所属機関名(発表時) 杏林大学 放射線医学教室

発表学会名 ASCI2014 (展示発表)

学会開催年月日 2014年6月12日～14日

演題名 Clinical Usefulness of Real-Time Flow Imaging With the No-Training-Scan k-t Method: Comparison With the Conventional (2D-PC) Method

優秀論文賞受賞 無

学会報告記(800字程度・写真1枚)

締切:2014年7月31日

◇本文

2014年6月12日から14日の3日間、韓国済州島(Lotte Hotel Jeju)で開催された第8回アジア心血管画像学会(ASCI, Asian Society of Cardiovascular Imaging)に際し、心臓血管放射線研究会から助成をいただき発表(私は「Clinical Usefulness of Real-Time Cardiac Cine Imaging With the No-Training-Scan k-t Method」というタイトルで発表)、参加する機会を得ました。厚くお礼申し上げます。

私は初めての参加でしたが、多く活発な発表と討議が行われており、非常に有意義な学会でした。今回は SCCT Korea International Regional Committee と韓国 心血管画像学会 (KOSCI, Korean Society of Cardiovascular Imaging)との合同開催で、連携の強い SCMR (Society of Cardiovascular MR)や欧州心臓放射線学会 (ESCR, European Society of Cardiac Radiology)のジョイントセッションも設けられていました。

当院にも導入されている東芝の Wide detector CT「Aquilion ONE」ユーザーからの One rotation scan のアドバンテージを生かした冠動脈サブトラクションの初期経験の報告もあり、興味深く拝聴しました。

学会会場は、韓国有数の高級ホテルである Lotte Hotel Jeju であり、様々なリゾート施設やカジノも併設されていました。また、済州島には世界自然遺産もあり、帰国前には島の東側にある自然公園を見学する機会にも恵まれました。2日目晩には学会全体の懇親食事も “Gala Dinner” が行われ、ASCI Gold Medal を佐久間肇先生が受賞されていました。私はたまたま席が、若手ベストプレゼンター賞(BYPA, Best Young Presenter Session) を受賞した韓国延世大学放射線科の Young Joo Suh 先生の隣の席でしたが、非常に活発な研究をされているとのことで、大いに刺激を受けました。

来年の第9回 ASCI は 2015.6.11-13 にマレーシア、クアラルンプールで開催されます。

